

感染症対策などワンヘルスの世界的先進地を目指して!!

世界中で猛威を振るい続ける新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、オミクロン株の出現で年明けとともに感染者が急増し、今、私達は、過去最大の第6波の最中にあります。

このまさに災害級のパンデミックに対し、服部誠太郎知事は、就任直後の昨年4月臨時議会から12月議会まで、県政史上例のない17回もの補正予算を組み、必要な財政基盤を整えて、感染症対策と県経済を両立させるため、力強く、スピード感あふれる施策を次々に実施して来られました。

私も県議会も迅速な審議で予算成立と施策の実施に協力するとともに、さらなる県民支援の拡充を求め、服部知事との強固な信頼関係の下に実現させてまいりました。

今回の第6波にも、急激な感染拡大に先手を打って対処していくため、服部知事の要請により、1月20日、秋田章二議長が代表者会議を急遽招集。知事から県独自の福岡コロナ警報(8面に関連記事)やまん延防止等重点措置に向けた取り組みと18回目となる補正予算の説明を受け、知事と県議会主要4会派が二人三脚でこの難局に取り組むことを確認しました。



奥左から右に、森下博司公明党団長、服部誠太郎知事、井上忠敏緑友会会長



左から松本國寛自民党県議団会長、秋田章二議長、仁戸田元氣副議長、岩元一儀民主県政県議団会長

議会主要4会派が知事と対策協議

コロナ禍第6波に知事との連携で緊急対応



福岡県議会
ホームページ

<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp>

携帯電話向けサイト
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/m>

ワンヘルスの今とこれから

ワンヘルス推進行動計画策定中

新型コロナウイルスのような人と動物双方に感染する人獣共通感染症は、今回のパンデミック終息後も繰り返し人類を襲うことが危惧されています。私たちは、これに備えるため、人と動物の健康とこれを支える環境の健全性を一体的・総合的に守るというワンヘルスの取り組みを長期的・計画的に進めていかなければなりません。

県では、現在、昨年1月に施行されたワンヘルス推進基本条例に基づき、ワンヘルス推進行動計画の策定と様々な取り組みの拠点となるワンヘルスセンターの整備計画が進行しています。



FAVA2022大会福岡開催

今年11月、福岡市(ヒルトン福岡シーホーク)でアジア・オセアニア及びアメリカの23カ国・地域の獣医師会の連合組織「アジア獣医師会連合(FAVA)」の関係者が一堂に会するアジア獣医師会連合大会が福岡県・福岡市との共催で開催されます。(公社)日本獣医師会会長でもある当県議会の蔵内勇夫議員がFAVA会長に就任して主催されるこの大会では、ワンヘルスの取り組みを議題とするシンポジウム等が行われ、感染症や薬剤耐性菌等に関する最新・最先端の情報交換や研究者の交流によって、ワンヘルスに関する議論とアジア各国の連携が深まることが期待されています。

ワンヘルス推進基本条例から実践促進条例へ



本県のワンヘルス推進基本条例とワンヘルス実践の取り組みは、政府や国会でも理解者の輪が広がりをみせています。1月20日の参議院代表質問でも、松山政司議員(自民党)の質問に答え、岸田文雄首相は、「福岡県がワンヘルスの理念実践のため、全国に先駆けて条例を制定し、取り組まれていると承知している。政府としても、福岡県の取り組みを参考にしつつ、ワンヘルスアプローチに基づく感染症対策に取り組みたい」と答弁されました。

(右写真は総裁就任前の岸田首相に公益社団法人日本獣医師会会長としてワンヘルスの説明をする蔵内勇夫議員)

現在、当県議会では、ワンヘルス推進基本条例で骨格が定まり、県行動計画で肉付けされたワンヘルス実践の取り組みをさらに促進するため、新たな条例づくりに取り組みんでいます。



新条例に取り組む議員提案政策条例検討会議のメンバー 左から大塚勝利議員、壹岐和郎議員、大田京子議員、井上博隆議員、香原勝司議員、吉村悠議員(座長)、板橋聡議員、浦伊三夫議員、堀大助議員、小河誠嗣議員

令和三年十二月

定例会の概要

12月定例会は、12月1日に招集され、12月20日まで20日間の会期で審議が行われました。開会日には、議長が11月2日に逝去された小川洋前福岡県知事へ哀悼の意を表するとともに、弔詞贈呈の報告が行われました。また、「十中大雅副議長長の職責放棄に関する決議案」が上程され、可決された後、十中副議長の議員辞職が諮られて許可されました。このため、議事日程を変更し、12月6日に副議長選挙が行われることとなり、新しい副議長には仁戸田元氣議員(民主県政県議団)が選出されました(8面に新しい副議長長の紹介を掲載しています)。

今定例会には、新型コロナウイルス感染症対策、8月大雨災害の復旧・復興、地域活性化に必要な経費の令和3年度補正予算案3件、条例案7件、専決処分したもののについて報告し承認を求める議案1件、工事請負契約の締結に関する議案6件、人事に関する議案2件、その他の議案7件、計26件の議案が開会日に知事より提出されました。

また、令和3年度の給与改定に関する補正予算案1件と条例案4件の議案が追加提出され、さらに、議事日程を変更し開かれた12月17日の本会議では国の補正予算を最大限活用し、新型コロナウイルス感染症対策、地域経済の活性化と成長・発展に必要な経費のほか、安全・安心の確保に必要な経費の補正予算案2件が追加提出されました。

審議にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策、来年度当初予算編成の基本方針、農林漁業問題、教育問題など県政全般にわたり活発な議論が交わされました。

審議の結果、33件について、いずれも原案のとおり可決、承認または同意されました。

また、任期満了に伴う福岡県選挙管理委員会および補充員の選挙を行い、委員4人、補充員4人が当選されました。